

令和6年度 江戸川区立篠崎第四小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 「よく考え、つくり出す子」 「みんなとともにのびる子」 「たくましく生きる子」 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> 安全で心地よい学校・子供を大事にする学校・学ぶ喜びを知る学校・地域と共に歩む学校 主体的に学び、自分の成長を喜び、学びに意欲をもって取り組む子・自他の生命を尊び生命相手の立場や気持ちを考えて行動できる子・運動の楽しさを味わい心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる子 子供を愛し大切に育てる教師・学校の仲間、地域、自分を大切に育てる教師・専門性を持ち、教育のプロとして自己肯定感を持つ教師
前年度までの本校の現状	成果 ○校内研究では、全学級、全教員が授業を行うことができた。授業の構成の研究を深めた。 ○「運動取組カード」を作成し、2学期に掲示することができた。 ○帰りの会等で児童の「よいところ」を見つけ、共有することができた。 ○学校ホームページは、毎月更新することができた。	課題 ●校内CDTテストでは、国語は4・6年、算数は5・6年が正答率80%を超えることができなかった。 ●外部機関との連携をさらに行ってほしい。 ●月に1回の一斉退勤日を会議無しの日としたが仕事量は減らすことができず、時間外の勤務者が多くなってしまっている ●SSS等を週に1回以上活用することができた。時期によって差があるので、定期的に活用してほしい。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○基礎基本の定着とそ のための学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> ベーシックタイムの実施 篠四スタンダードの徹底 家庭と連携した毎日の家庭学習 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を 図る教育活動の実施 の肯定的意見の割合 を80%以上。 	A		A	ベーシックタイムの実施、篠四スタンダードの振り返り等で基礎基本の定着に取り組んだ。家庭学習もさらに進めたい。	A	アンケートでは、97%の肯定的意見の回答を得たが、さらに成果が上がるよう、家庭と連携して学力向上を目指したい。					
	○個に応じた指導の充 実	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究を生かした授業改善（ユニバーサルデザイン）授業に意欲的に取組む ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に楽しく取り 組んでいる肯定的 意見の割合を80% 以上。 	B		B	算数科を中心に授業研究をすすめ、自分の考えをもち伝え合い考えを深める学習方法を試み、楽しくは取り組んでいる。	B	アンケートの「楽しく学習」は、98%であったが、「主体的な学習」では、86%にとどまった。さらに努力したい。					
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> 篠崎子ども図書館による資料準備・整備を活用 学校応援団との連携 読書の時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 図書等を活用した 学習に取り組んでい るの肯定的意見の割 合を80%以上 	B		B	しよんおはなし隊・ブックマム・子ども図書館との連携で図書に興味をもち学べた。高学年は、よむYOMUも活用した。	A	アンケートの「ICT、図書を用いて学習に取り組めるように活動」では、93%の肯定的意見の回答を得た。					
体力の向上	○体力向上の視点に 立った取り組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通した縄跳び運動の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上を図って いるの肯定的意見の 割合を80%以上。 	A		A	なわとびweek・体育学習発表会での活用が、できた。篠四ダンスの定期的な実施も継続し運動を楽しんで活動している。	A	アンケートの「体力の向上」では98%の肯定的意見の回答を得た。PTAと連携し夏季休業中の篠四ダンスにも取り組んだ。					
	○歯の健康の意識化 よい生活習慣の維持と 改善	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の歯の健康について の啓発の取り組み 食育・家庭と連携した生 活リズム週間の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 全児童の給食後の 歯磨きの実施 フッ化物洗口の2 学期の実施 	A		A	全児童の給食後の歯磨きを実施している。フッ化物洗口の準備も整え、2学期から実施している。生活リズム習慣も実施。	A	アンケートの「生活習慣の向上」では、99%の肯定的意見の回答を得た。歯科医による学校保健委員会も実施した。					
	○行事を通した体力向 上	<ul style="list-style-type: none"> 体育学習発表会での意欲 的な取り組み スポーツテストへのめあ てを持った取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りカード等 を活用した行事ごと の振り返りの実施 	B		B	体育学習発表会では、体を使った表現に意欲的に取り組んだ。スポーツテストにめあてをもち取り組んだが練習が不足した。	A	体育学習発表会実施後のアンケートは、大変好意的であった。熱中症予防を含め、種目数など検討していく。					
実現に向けた 教育の推進	○他者との気持ちのよ いコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動の取り組み 篠四スタンダードの全員に よる意識化 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちの良い生活 にの肯定的意見の割 合を80%以上 	B		B	代表委員会によるあいさつ運動により全校での意識がさらに高まった。言葉遣いについて人権習慣と関連し取り組んだ。	B	あいさつがよくできていると、学校評議員から声掛けをいただいている。言葉遣いについては今後も取り組みを続ける。					
	○ユニバーサルデザ インを取り入れた個に 応じた学習の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> 巡回指導教員や特別支援 教室専門員の活用と連携 	<ul style="list-style-type: none"> 指導記録に細かい 記録欄を作り、毎回 指導後の記録を作成 し、校内で共有する 	B		B	指導記録の共有はしっかり行えた。ユニバーサルデザインを意識したわかりやすい学習は校内研究も含め工夫を行っている。	B	特別支援教室との連携は、今後もしっかり行っていく。					
	○特別支援教室の活用 促進	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教室について保 護者への理解啓発 	<ul style="list-style-type: none"> HPでの紹介 ・コーディネ ーター・SCの面談を 希望者に適宜行う 	A		A	ホームページに特別支援教室についての紹介を掲載した。SC面談は空き時間なく活用し、学校との連携もはっきり行った。	A	アンケートの「特別支援教育への取り組み」では、97%の肯定的意見の回答を得た。					
不登校・いじめ対	○いじめアンケートの 確実な実施と対応	<ul style="list-style-type: none"> 全児童にアンケートを毎 学期実施するとともに、全 員面接を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめに対する適 切な指導の肯定的 意見の割合を80% 以上。 	A		A	1学期の全校アンケートを実施し、全員面接を行い、早期発見と対応を行った。日常の中でも即時対応を行った。	A	アンケートの「いじめアンケート等による児童理解」では、97%の肯定的意見の回答を得た。					
	○豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動への取り 組み 異学年交流（なかよし 班）等の活動。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいの肯 定的意見の割合を8 0%以上。 	A		A	全校でのあいさつ運動への取り組み、なかよし班活動の継続した実施、50周年記念行事集会等の実施。	A	アンケートの「楽しく学習や生活を送ること」では、98%の肯定的意見の回答を得た。					

応の充実	○豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の充実 ・情報モラル教育の充実 	・年間3回以上のいじめ防止の授業の実施。情報モラルの授業の全学年での実施	A		A	6月にいじめ防止の授業を行った。情報モラルについて道徳の時間を活用して行うとともに日頃からの声掛けを行っている。	A	道徳授業地区公開講座では自己肯定感を高め明るい気持ちで過ごす生き方について5、6年児童と保護者の講演会を実施することができた。						
学校(園)の地域社会に開かれた実現	○学校からの情報の積極的発信	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談、保護者会、各種便り、HPでの情報発信 tetoruによる情報発信 	・HPの活用等により連携しての肯定的意見の割合を80%以上	A		A	各種の便りで具体的に発信するとともに、tetoruで情報発信を行い、時機を逸せず、伝えることができた。	A	アンケートの「個人面談、保護者会、HPの活用による連携」の項目での肯定的意見95%の回答を得た。						
	○学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケートの実施 ・学校評議員との連携 ・町会との連携 	・学校アンケートを2回行う。 ・評議員会を3回以上実施する。	A		A	第1回目学校アンケートを行い集計考察を行った。50周年記念式典に関連し、学校評議員・各町会との連携も行っている。	A	第1回アンケートで、意見をいただき、今後の運営に生かしていく。						
	OPTAとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会 ・周年実行委員会 ・学校応援団の拡充 	・相談しやすい開かれた学校の肯定的意見の割合を80%以上。	A		A	PTA行事・50周年式典・祝賀会に向け計画的に話し合いや準備をすすめている。学校応援団も拡充し、連携している。	A	アンケートの「相談しやすい開かれた学校として機能している」で91%の肯定的意見の回答を得た。						
教育の特色ある展開	○ユニバーサルデザインの活用による主体的に学ぶ授業方法の工夫	・ユニバーサルデザインを取り入れた、わかりやすい授業の工夫。意欲を高める工夫。	・全学年全学級による授業研究を行い、算数授業スタンダードを推進する。	B		B	3年生、5年生、6年生による授業研究を行った。自分の考えをもち、伝え合い考えを深めて学びをすすめている。	B	学校公開等で保護者・地域の皆様に参観いただき、改善を重ねている。						
	○縦割り班等異学年交流による共にのびる子の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし班により、思いやりの心、責任感、自己有用感等の醸成をすすめる。 ・ペア学級の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし班遊びを6回以上行う。 ・ペア学年の学習交流を各学年で行う 	A		A	なかよし班遊びを計画的に行っている。上学年が下学年を思いやるとともに楽しく親しく交流できている。	A	アンケートの「楽しく学校生活を送ること」の項目で98%の肯定的意見の回答を得た。						
	○6年生全員参加のマーチングバンド活動	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿骨区民館祭りへの参加 ・発表の場を設定する。 	・全体発表を3回以上行う。	A		A	鹿骨区民館祭りのパレード・体育学習発表会での発表50周年記念集会で立派に発表し、地域とのつながりを深めた。	A	PTAとも連携し、子供たちの活躍を学校・保護者・地域で見守っている。						